

山谷のホスピス

13日夜、NHK番組「プロフェッショナル仕事の流儀」“山谷の町で命に寄り添う”の番組で、抑えきれず何回も声を出し泣き通した。

身寄りのない山谷の生活者最終場面に寄り添う『きぼうのいえ』は、行き場を失った人々・家なき人々のため、宿泊施設「なかよしハウス」を、さらにホスピスをめざし

て運営している特定非営利活動法人です。運営資金は寄付金で運営されています。

私は地震災害のボランティア参加の経験から「無報酬の報酬」。人知れず私は優しさ、篤い日本人が実に多いことを知っています。

郵便振替の場合

郵便振替番号 1900-100-3886

【名義】きぼうのいえ 後援会

『きぼうのいえ』最高齢でゆうに90歳を越えた住人「ヨ」さん。夜の見回りに来たスタッフに気付き、布団の中から天井の照明器具を指さして一言。「星、つけて？」と。この星

は朝になったらつくよ、と答えると、「そうか」と返事して、また夢の中へ、、、

住人「ヨ」さんのひと言「真つ黒だった人生を真っ白にしたい」



「もーかわいいなあ。キスしたことある？僕は今年はまだしてないな」

七夕の短冊にしたためられた、住人「ヨ」さんの願い

「はるちゃん（スタッフ）とずっと一緒にいられますよう

に」

深夜の事務所にて、コーヒを飲みながらスタッフと談笑する住人「ヨ」さん

「聖書にはね、苦しめなんてひと言も書いてない。楽しめていってるとんだよ」

成功の反対は失敗でなく何もしないこと

夢はかなわないと思ってるかもしれない。

誰でも夢に向かうときに、大きな不安があると思います。しかし、自分の直感を信じて、

失敗や挫折など多くの試練があると思いますが、失敗も挫折もマイナスではありません。

失敗は成功と同じカテゴリー（はんちゆう）にあると単独・無酸素・エレベーター登山家は書いています。

夢はかなうかなわないに係わらず持つことに意味がある。仲間が出来たとき夢がかなうのだと。

使命に生かされているのです。

イワンのバカ？

40%税率を宣伝し、法人税5%減税は大企業向け、菅首相は企業は国内に投資し、雇用を拡大し、給料を増やしてもらおうと説明。景気を引き上げ成長を促しデフレ脱却に繋げたいと語る。まさに一面的で、大衆向けのウソである。この程度でデフレ脱却出来るほどの日本の現状ではない。個人には地方税含め5千5百億円の大増税。デフレ現状で本当に稚拙でバカで致命的だ。

玄葉国家戦略相や野田財務相ら関係閣僚は、菅首相に、「3%」案と「5%」案を持ち込み、判断を仰いだ。これに対し、首相は「デフレ（脱却）と成長と雇用だ」と言って5%を選んだという。



(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2010年12月15日(水) NO. 160

地域から明るい未来を作ろう